

ふくしま



児童数 465名
校長 鶴 欣二

明日は、令和2年度卒業証書授与式！ ～成長した6年生～

校庭の桜の花もほころび始め、春の訪れを伝えています。いよいよ明日は、89名の卒業証書授与式となりました。6年間の小学校課程を修了する子ども一人一人の門出を祝う卒業式は、学校行事の中でも、特に大切な希望に満ちたものであります。コロナ禍の中で、いろんな制約がありますが、そのことを子ども一人一人が実感できるようにしたいと全教職員で準備を行っています。また、多くの行事や学習が中止・縮小となり、6年生にとっては思いっきり活動したり人とふれ合って楽しんだりする機会があまりありませんでした。そこで、少しでも6年生の心に残る卒業式にしようと、PTA役員さんを中心に多くの皆さんにいろんな準備をしていただいています。その思いと行動力に、職員一同心から感謝しております。

さて、6年生としてのこの1年間、下記のように、いろんなところで最上級生としてよく頑張ってきました。そして、一人一人が大きく成長していると思います。6年生に用事を頼むと、いつも「はい」と明るく返事をして対応してくれます。学習に対しても、学びに向かう力が随分とついてきました。また、1年生に合わせて遊んだり黙々と掃除をしたりする姿などもよく見ることができます。これらのことは、保護者をはじめ多くの皆様に6年間支えていただいた結果であると感謝しております。

私たち教職員一同、保護者や地域の皆様とともに子どもたちの卒業を祝福し、未来に羽ばたく子どもたち一人一人に、心からエールを送りたいと思います。



【1年生のお世話をした入学式】



【友だちと一緒に頑張った学習】



【主体的に取り組んだフェスティバル】



【みんなで学んだ修学旅行】

6年生を送る会 ～6年生の皆さん、今までありがとう～



【3年生出し物：体育館でビデオ撮影】

例年ならば、体育館に全員が集まり実施するのですが、3月2日コロナ対策のためにオンラインによる6年生を送る会を行いました。

当日は、放送スタジオとして5年3組の教室を使い、5年生の集会委員が司会進行を行いながら各学年の出し物のビデオを流しました。どの学年も、

教室の電子黒板を見ながらの参加でしたが、6年生に「ありがとう」という感謝の思いを伝えようと工夫を凝らして一生懸命でした。子どもたち一人一人のその姿に感動しました。6年生はこの1年間、いろんな制約もある中で、福島小学校のリーダーとして頑張り、成長してきました。6年生の皆さん、本当にありがとう。5年生も、最上級生になったら下級生をリードし、自分たちの力で福島小学校を創り上げてほしいと思います。



【教室で電子黒板を見る6年生】

卒業に向けた学習の様子

9日、福島中学校より中園校長先生、高野先生、宗岡先生にお出でいただき、子どもたちが安心して中学校等に入学できるよう学習や生活について話をいただきました。小学校と違うところや6年生に期待していること等の話を真剣な眼差しで聞いていました。また、感染対策をしながら合唱練習をしています。卒業式では、子どもたちの素敵な歌声が響くと思います。



【各学級ごとの合唱指導】



【福島中の先生方より説明】

給食用非常食「救給五目ごはん」

4日は、平成23年3月11日に起きた東日本大震災をきっかけに開発された救給五目ごはんが献立に並びました。

最近、日本各地で大雨や台風、地震などの災害が起きています。災害が起これば、当たり前だと思っている生活が送れなくなります。水や電気、ガスが使えなくなり、料理ができなくなったり、食材を運ぶ手段がなくなり食べ物が届かなくなったりします。子どもたちには、災害が起き、普段と同じ食事ができなくなることや災害に遭った人たちのことへの思いをさせながら、この非常食を味わってほしいと思っています。

3月11日は過ぎましたが、ご家庭でも、災害が起きたときの水や食料の備蓄や対策などについて、話していただきますようお願いします。



【救給五目ごはん】